泉第八小学校長だより

轟　とどろ

平成２２年２月２６日
２月号

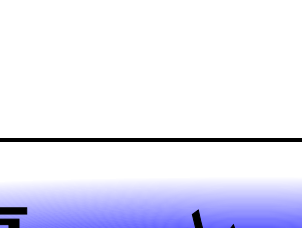
全国学力テストの結果は

４日（木）に全学年で実施しました全国標準学力テストは、全国を５０．０としたとき、学校全体で５５．７と大きく上回りました。課題だった算数の伸びが見られ、全ての学年で上回ったことは大変嬉しいことです。家庭での学習の習慣化が徐々に定着し、本来持っている能力が発揮されつつあります。詳しい個人データについては３月１日のＰＴＡの際に説明・配布いたします。

授業力を高めるための研究授業を実施

３日（水）に３・４年生の研究授業を行いました。子供たちに良い授業を提供するために研究授業を行い、授業後に全員でその検討会をします。必ず全クラスで毎年行われ、本音で成果と課題等について話し合います。その計画も夜遅くまで残って最高の授業公開となるように努力しています。

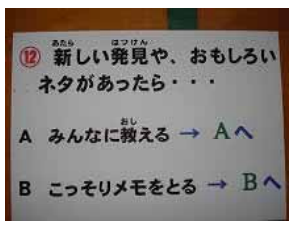
心に残る一冊の本を



今月の校長講話は、子どもたちに良い本をたくさん読んでもらいたいという願いから、校長が大好きな一冊「一杯のかけそば」を読み聞かせしました。何度読んでも涙があふれるぐらい、感動させられる本です。大人になっても感動する心をいつまでも持っていて欲しいものです。感動の涙を流す親の子どもは、やはり心が豊かです。保護者には裏面にその話の概略を掲載しましたのでご一読ください。

あなたに適しているのは？

３日の八小タイムは、吉村教諭が担当しました。全員が一枚のスタートカードから出発して、カードの中に書いてある質問に一番近いと思われるカードへと移動します。最後にたどり着いた所が自分に最も適した職業？というアドバイスでした。ちなみに一番多かったのは、農家・園芸家など「生物･自然系の仕事」でした。



五家荘そばうち体験、その味は？

本年度から八代市で取り組んでいる「生き生き学校づくり推進事業」を本校では「大好き五家荘、満喫プラン」で進めています。ふるさと五家荘の文化･自然・人材にどっぷり関わるものです。２２日には、地域の結城栄子さん高木くに子さん谷口れい子さん村川すそ子さんの４人に先生となったいただき、五家荘そば打ち体験を実施しました。少ない児童数が幸いして全員が主役となって、マンツーマンでの体験ができました。出来上がった手打ちそばは、みんなで試食した後、家族全員分のソバを持ち帰りました。

自慢の五家荘もみじを校庭に植樹

２５日（木）に八代地域振興局のご協力で五家荘もみじの苗を校庭に植樹しました。自分たちの学校・ふるさと樅木を子どもたちに直接かかわらせる一つの取組として自慢の五家荘もみじを森林巡視員のご指導のもとで一人４本植樹しました。苗木を鹿や暴風雨から守るためにカバーや支柱を施し、一人一人のネームプレートを掛けました。大人になる頃には、きっと真っ白い校舎の周りに真っ赤なもみじが栄える素敵な学校になることでしょう。

校　長　コ　ラ　ム

全国で「ありがとう。」「おかげさまで。」という感謝の言葉が激減している。ちょっと一言添えるだけで何と気持ちの良いことかしれない。他人との関わりを敬遠し、自分の価値観を強く押しつけようとする大人が増え犯罪が急増している。核家族化が進み子ども中心の生活の中で「してもらうのは当たり前」が身につき、なかなか相手の立場を思いやったり、相手の心くばりに気づけない子どもが急増しておりトラブルが絶えない。当たり前の意識は、人間関係をだめにする。時として本校の子どもにもその傾向が見られる場面に出くわすこともある。ある本によれば、不満が横行する家庭は崩れ、学校は荒れ、地域は疲弊化するとあった。大人が「ありがとう。」という感謝の土壌を作れば、子どもはその影響を受け自然に感謝の心で人はつながり地域は活性化する。子どもの前で「お父さん、ありがとう。」「お母さん、ありがとう。」と互いに親同士が声掛けしてみせたり、先生と保護者が「先生の指導のお陰です。」「お母さんのご協力に感謝します。」という言葉が子どもの周囲でたくさん聞かれることを希望したい。今月の校長講話で「一杯のかけそば」を子ども達に読み聞かせをした。２人の子どもと母親そして北海亭の夫婦の心は「ありがとう・おかげさまで」である。気持ちはあるが思っていても言えないのは、小生も含めて心の修行が足りないのだ。大人が先ずは「ありがとう。」の実行を！